

# 4月10日 駅弁の日

洋数字の「4」と漢数字の「十」を合わせると「弁」の字に見えることから、1933年（昭和8年）に社団法人日本鉄道構内営業中央会が制定しました。駅弁の発祥は諸説ありますが、栃木県宇都宮市の旅館が梅干の入ったおにぎりにごま塩を振りかけ、たくあん2切を添えて竹の皮に包んだものを販売していたのが起源だそうです。その後、全国で鉄道がつくられ、長距離を走る列車も増え、食事の必要性が増したため、駅弁が普及したと言われています。

しかしコンビニ弁当やファストフードの普及により駅弁の販売数が減少したため、地域の産物や郷土料理を取り入れた各地の名物弁当や、加熱タイプや保温式駅弁、キャラクター駅弁などが登場し、現在のような多種多様な駅弁が販売されるようになりました。駅弁の種類は全国で約2000種類以上あり、他の国では見られない「日本独自の鉄道食文化」として定着しました。

駅弁は百貨店や通信販売でも販売されるようになり、駅構内や列車の中以外でも手に入るようになりましたので、気軽に旅行気分を味わえます。

